CASBEE横浜[戸建] 評価結果 30-049

■使用評価マニュアルCASBEE-戸建（新築）2016年版　■バージョンCASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.1

1-1 建物概要

建物名称	個人住宅	
竣工年月	2018年10月	竣工
建設地 用途地域 省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	神奈川県横浜市南区井土ケ谷下町 第一種低層住居専用地 域6 地域	確定
構造・構法 階数	軽量鉄骨 地上2階建	確定
敷地面積	83 ㎡	確定
建築面積 延床面積	48 ㎡ 84 ㎡	確定
世帯人数	3	確定

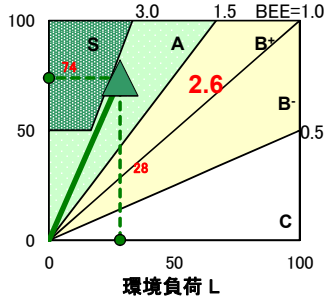
仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 一部確定
〈備考〉 ●家電製品は一部未定の段階での評価		
評価の実施日	2018年7月1日	
作成者	吉田　優子	
確認日		
確認者		

1-2 外　観

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)

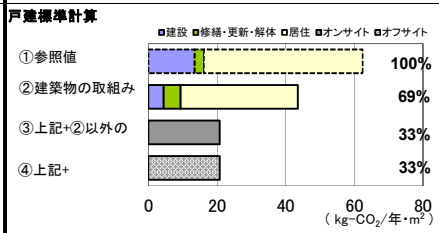
BEE =2.6

S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C:



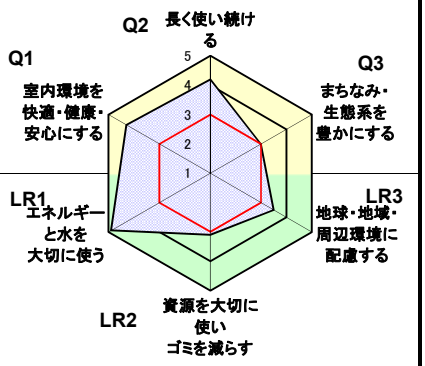
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

~0%: ☆☆☆☆☆　~50%: ☆☆☆☆　~75%: ☆☆☆　~100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

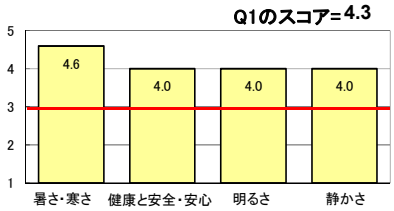
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



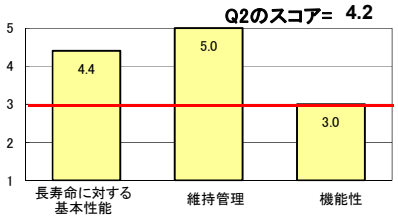
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.9

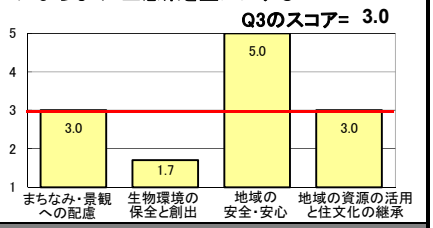
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする　Q1のスコア=4.3



Q2 長く使い続ける　Q2のスコア= 4.2

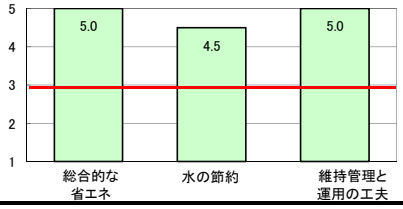


Q3 まちなみ・生態系を豊かにする　Q3のスコア= 3.0

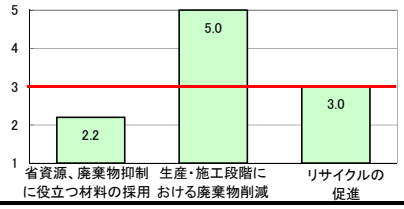


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.8

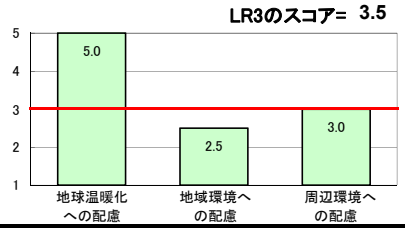
LR1 エネルギーと水を大切に使う　LR1のスコア= 4.9



LR2 資源を大切に使いゴミを減らす　LR2のスコア= 3.1



LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する　LR3のスコア= 3.5



3 設計上の配慮事項

総合

●南側に窓をとり、豊かな自然採光が得られる計画とした。 また、通風が得やすい位置に窓を計画し、パッシブデザインに配慮した設計を行った。●外壁にダインコンクリートを採用することで自然石のような風合いを醸し出し、自然との調和に配慮した。また断熱性能、通気機能にも優れているため、一年を通じて室内を快適に保ち、省エネ効果も高めます。

その他

横浜市ZEH普及推進補助事業

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

●断熱等性能等級4を満たす断熱仕様による冷暖房負荷の軽減　●換気通風、日射調整への配慮　●室内に採用する建材は全てホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆をクリア　●1階と2階のバルコニーに面する開口部全てに防犯ガラスの設置

Q2 長く使い続ける

●地盤調査に基づき地盤補強を行い安全な基礎方式を採用
●耐震等級3を満たすの軽量鉄骨プレースドパネル構造の採用
●長期優良住宅認定基準を満たす劣化対策を行い、構造躯体を高耐久化

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

●周辺の民家との調和を図り、周囲に溶け込む色彩の外壁等を採用

LR1 エネルギーと水を大切に使う

●断熱等性能等級4を満たす断熱仕様の採用に加え、3.741kWの太陽光発電装置を屋根に搭載　●燃料電池の採用　●照明ランプは全てLEDを採用

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

●工場生産で発生する廃材の再資源化に取り組み、2002年から「単純焼却ゼロ・埋め立て処分ゼロ」のゼロエミッションを達成、リサイクルの質に配慮しながら維持・継続している　●解体・施工現場からの廃棄物はプレカット部材の採用や建設リサイクル法に基づいた再資源化を行うことで削減に努めている

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

●道路面に樹木を設け街並みにおける緑化に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）

CASBEE横浜[戸建] 評価結果 30-049

CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.1

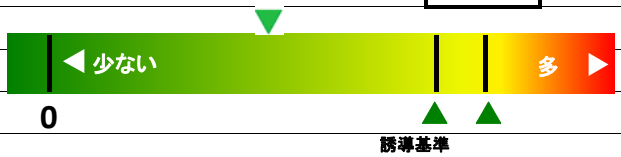
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。　　建物名称　**個人住宅**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving　重点項目への取組(5点満点)　【省エネルギー性能】　5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 50 %削減



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合

受付日　2018年7月9日

■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①BEI＝0.5

②家電・厨房機器による省エネを行っている

③パナソニック製HEMS AiSEG2を設置

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community　重点項目への取組(5点満点)　【健康・安心】　4

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4　(相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤主要な居室において適切な冷房計画を行い、ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無　なし

防災への配慮 (R) Resilience　重点項目への取組(5点満点)　【防 災】　5

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

①日本住宅性能表示基準「1-1,1-2 耐震等級3を満たす

②日本住宅性能表示基準「3-1 劣化対策等級3を満たす

③日本住宅性能表示基準「2-1 感知警報設置等級4を満たす

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape　重点項目への取組(5点満点)　【地域・まちづくり】　2

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
太陽光利用	燃料電池 ・ コジェネレーション ・
エネルギーマネジメントシステム導入	
HEMS ―	

CASBEE横浜[戸建] 評価結果 30-049

CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン ： CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.1

スコアシート

配慮項目	重点項目		評価点	重み係数	全体
Q_H すまいの環境品質			-	-	3.9
Q_H1 室内環境を快適・健康・安心にする			–	0.45	4.3
1 暑さ・寒さ			4.6	0.50	4.6
1.1 基本性能			4.2	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	④暑さ・寒さ	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	④暑さ・寒さ	1.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ			5.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす			5.0	0.50	-
2 適切な冷房計画			5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ			5.0	0.25	-
1 適切な暖房計画			5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心			4.0	0.30	4.0
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑤健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防　災	⑦災害に備える	5.0	0.25	-
3 明るさ			4.0	0.10	4.0
3.1 昼光の利用			4.0	1.00	-
4 静かさ			4.0	0.10	4.0
Q_H2 長く使い続ける			–	0.30	4.2
1 長寿命に対する基本性能			4.4	0.50	4.4
1.1 躯体	防　災	⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材			3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根			4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防　災	⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える			3.7	0.20	-
1 火災に耐える構造			3.0	0.65	-
2 火災の早期感知			5.0	0.35	-
2 維持管理			5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ			5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制			5.0	0.35	-
3 機能性			3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り			4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応			2.0	0.50	-
Q_H3 まちなみ・生態系を豊かにする			–	0.25	3.0
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑩まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出			1.7	0.30	1.7
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	⑪生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	⑪生物環境の創出	3.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防　災	⑨地域の安全・安心	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承			3.0	0.20	3.0
LR_H すまいの環境負荷低減性			-	-	3.8
LR_H1 エネルギーと水を大切に使う			-	0.35	4.9
1 総合的な省エネ			5.0	0.75	5.0
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	①建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	②設備の性能	5.0	0.10	-
2 水の節約			4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備			5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用			3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫			5.0	0.10	5.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	③維持管理と運用	5.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	③維持管理と運用	5.0	0.50	-
LR_H2 資源を大切に使いゴミを減らす			–	0.35	3.1
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用			2.2	0.60	2.2
1.1 構造躯体			3.0	0.30	-
1 木質系住宅			3.0	-	-
2 鉄骨系住宅			3.0	1.00	-
3 コンクリート系住宅			3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎			3.0	0.20	-
1.3 外装材			1.0	0.20	-
1.4 内装材			1.0	0.20	-
1.5 外構材			3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減			5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階（構造躯体用部材）			5.0	0.33	-
2.2 生産段階（構造躯体用以外の部材）			5.0	0.33	-
2.3 施工段階			5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進			3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供			3.0	1.00	-
LR_H3 地球・地域・周辺環境に配慮する			–	0.30	3.5
1 地球温暖化への配慮			5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制			2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全			3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減			3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善			3.0	0.50	-